

1. 単元名 「〇〇公園で遊ぼう！」

2. 活動にあたって

こんな子どもだから

本学級の子どもたちは、〇年生〇名、◇年生◇名の計□名である。年齢も発達段階もそれぞれ異なるが、みな外で身体を動かして遊ぶことが大好きである。

交通機関の利用については、個々の実態に応じて硬貨を準備していればほとんど支援しなくてもバスの乗降と地下鉄の切符を買うことはできている。友だちとの関わりについては、特定の相手と一緒に行動することを好む子ども、友だちからの働きかけを受け止められるようになってきている子どもなど様々である。少しずつ、教師の言葉かけがなくても友だちを応援したり、友だちと助け合ったりしながら活動することができてきている。また、個々の力に応じて、単元全体のおおよその流れを見通すこともできている。しかし、その見通しを生かして自ら活動を進めるまでには至っていない。さらに、聞くことが苦手な子どもが多いので、「話す・聞く」活動の中で同じ流れで個々の体験を話す「お話し会」に取り組んでいる。子どもたちは、体験したことなどについて簡単に話すことができる。話す内容に広がりをもたせていくことが課題である。



この単元で

この単元は、事前活動→実際活動→事後活動で構成されている。本単元は、子どもたちが、友だちとの外遊びを存分に楽しむことで、「伝えたい」という思いをもちやすい。また、自分たちだけで出かけた体験をお家の方やG Tに知らせるという意図からも「伝える」ことの必然性を理解しやすいという良さがある。さらに、〇〇公園までの行程では、これまで獲得してきたバスの乗降や地下鉄の切符を買うスキルを生かせる上に、乗り換えも新たに経験することができる。〇〇公園は交通公園であるため、固定遊具のほかにも、ゴーカートなどの運転も経験できる。遊びの広がりをもたせられるほかにも、交通ルールへの意識を高めることも期待できると考える。



こんな支援で

- ビデオや写真を利用しながら活動を振り返り、動きや様子を言葉と結びつけられるようにする。
- 公共の交通機関の利用の仕方を視覚的に確認できるような形で提示したり、模擬活動を通して具体的に練習したりする。
- 友だちと関わりあって活動できるよう、ペアでの活動などを設定したり遊び方を工夫したりする。
- 自分たちで見通しをもてるようにスケジュールカードを利用したり、感心や意欲を持続できるよう計画や準備の内容を視覚的に捉えられるような形で残したりする。



こんな力を

- 【表現する力】したことや楽しかったことなどを、相手に分かりやすく伝える力
- 【追究する力】できるだけ自分の力で公共の交通機関を利用する力
- 【共に学ぶ力】友だちと協力しながら仲良く活動に取り組む力
- 【関わる力】見通しをもち、〇〇公園で楽しく遊びたいという思いで活動に積極的に取り組む力

3. 主な学習活動と内容，評価規準および教師の支援（16時間）

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容 (生かしていく国語科の表現する力)	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つかむ (4)	1. ○○公園へ遊びに行くことや，○○公園へ行くためにバスと地下鉄を利用することを知る。① ○単元全体の見通し 2. 計画を立てる。① ○実際活動の内容決定 (相手の話を最後まで聞いて大まかな内容を理解する。) 3. ○○公園に行くときに必要なスキルについて，模擬活動で練習する。② ○公共交通機関の利用の仕方の理解と獲得	【表】 1学期に行った◇◇公園でどんな遊びをしたかみんなに聞こえる大きな声で，発表することができる。(行動観察) 【関】 ○○公園で楽しく遊ぶことを実現させるために積極的に話し合いに参加しようとすることができる。(行動観察) 【追】 できるだけ自分の力でバスや地下鉄の料金の支払いをすることができる。(行動観察)	※ 1学期に行った大濠公園での活動を想起しやすいように，写真やビデオなどを提示する。 ※ 具体的なイメージをもって話し合えるように，行程や全体図，遊具や園内の様子を写真や図で視覚的に示す。 ※ 券売機や改札機の模型を使ったり，待ち時間を設定したりして，実際の活動に近い形で行うようにする。
さぐる (6)	4. 実際に○○公園に行く。⑥ ○バスの乗降 ○地下鉄の乗降と乗換 ○○○公園での活動 ・固定遊具での遊び ・ゴーカートの乗車体験	【共】 友だちと一緒にルールを守って行動することができる。(行動観察)	※ 友だちと関わりながら活動に取り組めるよう，ペアを組んだり遊び方を工夫したりする。
ふり返る (6) 本時 16 / 16	5. ○○公園に遊びに行ったことをふり返り，絵ばなしを作る。④ ○実際活動のふり返り (内容を正確に伝えるために必要な情報を選択する。) (伝えたいことを中心に表現する。) 6. クラスで絵ばなしを発表する。① ○同じ活動をした相手との交流活動 (伝わりやすいような話し方で伝える。) (相手の話を最後まで聞いて大まかな内容を理解する。) 7. お家の方や地域の方に，絵ばなしを発表する。 ○体験したことやそのときの思いについての表現 ○単元全体のふり返り ①(本時 16/16)	【表】 活動を振り返り，何を伝えたいのか中心を決めて，書き表すことができる。(絵ばなし) 【表】 順序に気を付けたり擬音語・擬態語を使ったりして分かりやすく伝えることができる。(行動観察) 【関】 話したいという思いをもって表現することができる。(行動観察)	※ 実際の動作や様子と言葉をマッチングしやすいように，絵とことばカードで視覚的に示す。 ※ より自分の思いを分かりやすく伝えられるように，絵ばなしを作る段階で発表につながるようなことばかけや働きかけをする。 ※ 相手意識をもちやすいように，国語の時間に自分たちでG Tに招待状を書いて出しておく。

5. 本時目標

- 見通しをもち、話したいという思いをもって絵ばなしで話したり、尋ねられたことに答えたりしながら、楽しく人に関わることができる。【関わる力】
- 〇〇公園への校外学習で伝えたいことを、自分なりの方法で工夫して分かりやすく生き生きと表現することができる。【表現する力】

各自の目標・評価規準

A	<ul style="list-style-type: none"> ○ お話会の手順に沿って、自分から進んで話したり簡単な質問に答えたりしようすることができる。 ○ 一番楽しかったことを、みんなに聞こえる大きな声で、身ぶりなどを交えながら擬音語を使って語連鎖や二語文で話すことができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前に出て、お話会の手順に沿ってお話しようしたり、簡単な質問に答えたりすることができる。 ○ 楽しかった遊びのことを、最後まで落ち着いて擬音語を使いながら二、三語文で、大きな声で話すことができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ○ お話会の手順に沿って、みんなの方を向いて話したり、質問に答えたりすることができる。 ○ 楽しかったことを、みんなに聞こえる大きな声で、身ぶりなどを交えながら擬音語や擬態語を使った多語文でゆっくり話すことができる。
D	<ul style="list-style-type: none"> ○ お話会の手順に沿って、みんなが聞いているかどうかを気にしながら伝えたいことを話したり、質問に答えたりすることができる。 ○ 頑張ったことや楽しかったこと、そのときに思ったことについて、順序に気をつけながら、擬音語・擬態語を使った多語文で、ゆっくりと大きな声で話すことができる。

6. 本時指導の考え方

子どもたちは本時までには、〇〇公園を題材に、事前活動→実際活動→事後活動という活動に取り組んできた。スケジュールカレンダーを利用することで、自分たちで活動の見通しをもちながら少しずつ活動を進められるようになってきている。また、友だち同士で声をかけたり、お互いの行動を気にかけてたり、行動を合わせたりしながら活動を楽しむことができてきた。そのような中で、子どもたちは〇〇公園へ出かけ、友だちと関わりながら思う存分遊具や公園の広場で遊ぶ体験をした。さらに、その体験をふり返り、それぞれの伝えたいことを中心に文や文章で表す活動にも取り組んでいる。

そこで本時では、前時までには絵ばなしにまとめた、伝えたい内容を、「話したい」という意欲をもって、楽しかったことを生き生きと分かりやすく伝えることをねらいとして、ビデオ、写真、絵、ペープサートなど多様な表現方法を用い、自分の使いたい物を使いながらお話することで、より豊かな表情、身振り手振り、相手に伝わりやすい話し方などを伴う表現を引き出すことができると考えている。

はじめに、〇〇公園で活動している様子のビデオを見たり、絵や写真を提示したりして、楽しかったという思いを想起しやすいようにし、「伝えたい」という意欲をはっきりもたせる。また、遊んでいる様子の写真やペープサートを提示することで、発表に対する意欲をもたせたい。

次に、実際のお話会では、はじめにお話会の進め方について再度確認する。その際、モデルビデオを見ることで、相手を見たり、分かりやすく指さしたり、身振りを交えたりしながら話す姿を引き出したい。また、お家の方やG T（スペシャル先生）には予めその子に応じた質問内容をいくつか渡しておく。答えやすいお尋ねをしていただくことで、自信をもってお尋ねに答える姿も引き出したい。さらに、次の活動への広がりをもてるような紹介などをしていただく。

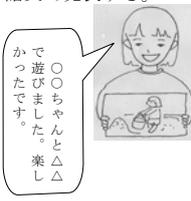
最後に、お家の方やG Tから今日の感想をお話して頂き、子どもたちがより達成感や成就感を感じて終わられるようにしたい。

7. 準 備

(児 童) 絵ばなしノート

(教 師) ペープサート、〇〇公園の拡大地図などのペープサートの場、写真、ビデオ
お話会の進め方(常掲)、話し方・聞き方(常掲)

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容		教師の支援	
<p>1. 学習のめあてを確認し、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>○本時のねらいの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて</p> <p>○○公園で遊んで楽しかったことを、お家の方やスペシャル先生に生き生きとお話しよう！</p> </div> <p>2. お話会をする。</p> <p>○お話会の進め方の確認</p> <p>○発表の順番の確認</p> <p>○分かりやすい話し方の確認（ビデオ視聴）</p>		<p>※ 楽しかった思いを想起しやすいよう実際活動の様子のビデオや写真を提示する。</p> <p>T1：ビデオ操作と全体へのことばかけ T2：Aに対しての個別のことばかけ</p> <p>※ 何についてお話するのかを明確にもつために、作った「おでかけノート」を提示する。</p> <p>※ より豊かな表現につながるように、写真や絵、ペープサートなど自分たちで準備した道具を使いながら、発表する。</p> <p>T1：全体進行、A、C、Dへの支援 T2：Bへの支援</p>	
A	B	C	D
(1) 貝塚公園で楽しかったことを発表する。			
<p>○実物や身体表現、写真、ペープサートを使って二・三語文で発表する</p>  <p>すべり台で滑りました。シューッと滑りました。</p>	<p>○写真やペープサートを使って、二・三語文で発表する。</p>  <p>○○ちゃんや△△で遊びました。楽しかったです。</p>	<p>○写真やペープサートを使って多語文で発表する。</p>  <p>ゴーカートに乗りましました。ユックとアクセルを踏んで、セルギ</p>	<p>○写真やペープサートを使って多語文で発表する。</p>  <p>○番出口から出ました。右に曲がって、地上</p>
(2) GTからのお尋ねに答えたり、お話を聞いたりする。			
<p>○GTの話を聞いて簡単な質問に答えること</p>  <p>ビューッといきました。自分でできました。</p>	<p>○GTの話を聞いて簡単な質問に答えること</p>  <p>○○先生とのりました。ちょっとこわかったけど、楽しかったです。</p>	<p>○GTの話を聞いて質問に答えたり質問したりすること</p>  <p>そうです。その公園は楽しいですか？</p>	<p>○GTの話を聞いて質問に答えたり意見を言ったり、質問したりすること</p>  <p>ぼくは○○さんと二人で乗り換えを頑張りました。その公園はどうやって行けますか？</p>
<p>3. お家の方やGTの感想をうかがう。</p> <p>○自分の発表の振り返り</p> <p>4. 単元のめあての振り返りをして、次回のおでかけへの意欲をもって学習を終える。</p> <p>○単元全体の振り返り</p>		<p>※ 一人一人が達成感・成就感を感じられるよう、一人一人にコメントをいただく。</p> <p>※ みんなで達成感を味わえるよう、大きな振り返り用紙で振り返る。</p>	